

令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち
 施策 01 学校教育の充実
 主管課： 学校教育課
 関係課： 企画課、指導室、学校給食センター

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
児童生徒	学校生活を楽しく過ごし、心身ともに健康で人間性豊かな人に成長できるまちをつくる。 社会の変化に対応した行動ができる子どもを育成する。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

学校が楽しいと思う児童の割合（小学生）						（%）	学校教育課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）		
92.70	93.80	95.70	96.00	96.00	95.00		
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度よりも3.0ポイント上昇し、目標値を達成しています。 （原因）今回の調査は、前回同様、年度初めの学級に安定性が欠ける時期に行ったものですが、年度初めに行った調査での指標としては高いものと思われます。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

学校が楽しいと思う生徒の割合（中学生）						（%）	学校教育課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）		
85.80	88.60	90.90	91.00	91.00	90.00		
向上指針	上がると良い	（状況）前年度に比べて2.2ポイント上昇し、目標値を達成しています。 （原因）今回の調査は、前回同様、年度初めの学級に安定性が欠ける時期に行ったものですが、年度初めに行った調査での指標としては高いものと思われます。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	1,581,537	1,822,048	2,088,705	2,889,166	3,329,314
人件費	40,197	51,177	52,930	0	0
トータルコスト	1,621,734	1,873,225	2,141,635	2,889,166	3,329,314

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 確かな学力の育成	横ば	横ば	横ば		29,410	72,244	80,748	82,540	81,925
02 豊かな心を育む教育の推進	向上	低下			23,593	24,993	26,853	17,385	17,329
03 健康と体力を育む教育の推進	向上	低下	低下		473,399	494,363	511,043	534,445	559,676
04 時代の変化や国際化に対応できる教育の推進	低下	向上			209,465	251,245	265,388	276,867	277,808
05 開かれた学校づくりと学校・家庭・地域の連携	向上	横ば			0	0	0	0	0
06 安全・安心な教育環境の整備	向上				617,670	693,842	881,824	1,789,539	2,273,824
99 施策の総合推進					228,000	285,361	322,849	188,390	118,752

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>「子育て王国もりや」の実現に向け、前・後期制を導入し、週3日の5時間授業を実施し、児童生徒の学習効果の最大化を図る。また、自主的な学習活動支援のため、学校図書館の充実を図るとともに、中央図書館との連携を強化する。</p> <p>安全で安定した給食を提供するため、学校給食センターの改築に向け、準備を進める。</p> <p>児童生徒の安全・安心の確保のため、いじめ対策本部を設置し、総合教育支援センターとの連携を図り、いじめの未然防止・早期対応、不登校児童生徒のサポートに努める。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>学校と総合教育支援センターが連携し、不登校の未然防止や早期対応に努めました。また、体育指導の工夫、外遊びの勧め、部活動指導員を活用した部活動の活性化等により児童生徒の体力向上を図っています。</p> <p>その他、外国語指導助手（ALT）を引き続き全校に配置し、国際理解教育を進めるとともに、ICT（情報通信技術）支援員を積極的に活用し、効果的な学習に取り組みました。</p> <p>開かれた学校づくりを進めるため、各学校の目標や教育方針について、市ホームページ等で積極的に情報発信をし、教育方針や教育活動への理解啓発に努めました。</p>	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>守谷型カリキュラム・マネジメントによる週3日の5時間授業で児童生徒の学びの充実と教職員の働き方改革を推進します。また、全国トップクラスのICT環境を活用してプログラミング教育を推進するとともに、児童生徒の自主的な学習活動を支援するため、中央図書館と連携し学校図書館の充実を図ります。</p> <p>いじめ対策本部を設置し、総合教育支援センターと連携を図り、組織的な対応を充実させます。児童生徒の安全・安心の確保や教育活動の充実のため、まちづくり協議会等の地域と連携した防犯組織の構築や地域教育力の活用に努めます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加